広報
さめがわ

昭和54年
8月号
No. 308
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町佐藤印刷所



炎天　のもと村政を現地にみる
村議会議員団の活動

村議会の議員さんたち一行は、村内各地で実施された村の事業の実績や運営状況を現地で調査するため、7月11日と12日の両日村内視察を実施されました。

炎暑きびしいこの日、全員バスを利用して、村道、国県道の改良整備の状況、農道、林道、開発道、作業道の開設の状況、治山、災害復旧の進捗状況などを調査し、各学校等の施設、今後の課題についても意見の交換がありました。また阿武隈山系開発事業、防災事業なども調査され、これからの村政進展のため有効な日程を終了されました。

写真は富田小学校の旧校舎跡地を視察し、今後の対策を検討する議員さん一行と随行の職員。

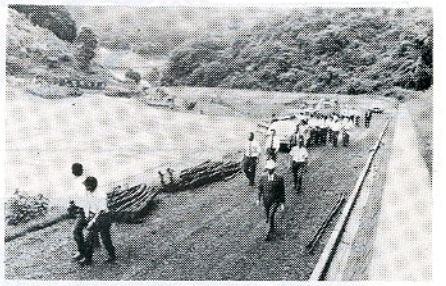
- ⊙ 1日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ 道路をまもる月間　8月1日～8月31日
- ⊙ シートベルト着用推進運動　8月1日～8月31日
- ⊙ 交通事故防止コンクール実施中　7月1日～12月31日

今月の人口

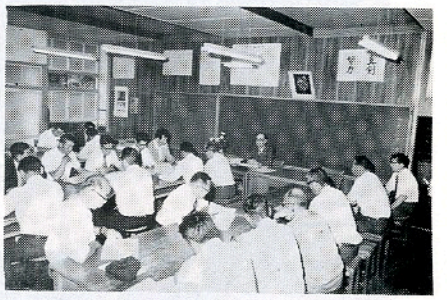
（8月1日現在）

		前月比
人口	5,760	(−11)
男	2,878	(−8)
女	2,882	(−3)
世帯	1,168	(−4)

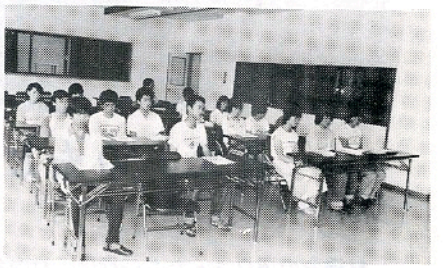
議員団村内施設をめぐる



幼稚園建設の敷地造成工事を視察する議員さんの一行。



鮫川分校は一層魅力ある高校となるために、校舎の新築運動を強力に進めるべきであるという意見が出されました。



公民館、開発センターの企画で、県内では初めての高校生の集いが開かれました。

参加者は多くはなかったが、大変熱心で、村勢の現状や、村の文化財、産業施設などに深い関心を示しました。

1泊2日の宿泊研修で、たのしい行事でもありました。

教育のひろば(4)

青少年をたくましく

村長　石田卯子八

青少年が心身ともに健やかに成長することは、如何なる時代、如何なる社会でも至上最大のねがいであることにかわりはありません。

それは現実の社会で、望みながら、また努力しながら、果せないでいる夢を、次代を担う青少年の将来に期待するからであります。

わが村では青少年健全育成推進協議会を七月から発足させました。

この組織は、これまであった青少年問題協議会を廃止して新しく設置したものですが青少年の育成は単に非行化の防止や問題青少年の補導だけに止るべきものではなく、社会の構成員が総ぐるみで明るくあたたかな社会をつくり、その中で正しく強く健康な青少年を育てていくという考え方に立つものであります。

青少年はもとより社会の一員であり、社会の環境条件に敏感に適応しながら自らを形成していく成長体ですから、青少年の健全性は社会の健全性の反映とも見られます。

明るい家庭環境、あたたかな地域環境、たのしい学校環境などが望まれることはいうまでもありません。

青少年を心身ともに健やかに育てる責任は、特定の者だけで負担できるものではなく、社会の一人一人が責任者であることの理解が大切であると思うのであります。

鮫川村公民館と山村開発センターは、学校が夏休みに入ってから高校生の集いや文化財教室を企画して実施しました。

学童は学校と教師におまかせという考えから離れて、社会教育の分野から青少年の健全育成に参加するという発想がこの試みを生んだわけであります。

初めてのためか参加者は少なかったが、感想文を見るとふるさとの文化財や産業に興味と関心を深めたことは確実で、たのしく予定の行事を消化したようであります。

学校に学ぶ青少年が担任の教師以外から郷土の生きた歴史や地学を学ぶ機会を得たことも貴重な経験というべきであります。

青少年が自らの誇りと責任を自覚し、正しく強く生きて行こうとする態度を養うために、村人が総参加で協力と提携をはかることにしたいものであります。

道路をまもる月間
8月1日～8月31日

道路を大切にしましょう

八月一日から八月三一日までの一か月間は、建設省・市町村等の主催による『道路をまもる月間』になっています。

これは安全で快適な道路環境を保持し、交通安全施設等の点検や整備をして、道路を広く美しく、安全に使用する機運を高めることを目標としています。

道路に物を置いたり、干し草を干すのはやめましょう。

道路が狭くなり交通事故の原因にもなるので、お互いに注意して道路を大切にしましょう。

（建設課）

豊かさもくらしやすさも道路から

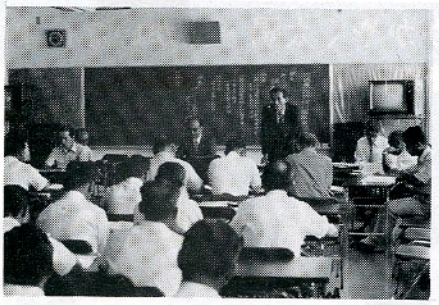
おめでた

七月

名下　須藤　喬士　父須藤一兄
岩野草　根本　健二　父根本日出雄
芦ノ草　円井　義人　父円井義生
青生野　笹島あをえ　父笹島光儀
木戸沢　鈴木　幸子　父鈴木正孝
青生野　岡部　和彦　父岡部照夫
官沢　矢吹　丈晴　父矢吹勝治
前田　金沢　智史　父金沢吉衛
土路部　関根　靖　父関根英也

変ぼうする農業事情に対処

地域農業特別対策事業始まる



わが村の農業は困難な自然的、社会的条件の下で、幾多先人の努力が積み重ねられ、今日の基幹産業として発達したものでありますが、近年のめまぐるしい社会情勢の変ぼうは、集落機能の低下、担い手の減少、農用地の荒廃等憂うべき傾向が現われております。

この際地域農業の実態を再確認しつつ、農業者の志向に基づく将来の発展を展望して、新しい発想による企画と実践を進めるため、この事業を実施することになりました。

○事業種目

(1) 地域農政推進活動の展開

(2) 農用地高度利用促進事業

村ではこの事業でより明るく豊かな生活の営める農村集落をつくるため、関係機関等、及び集落の代表者で組織する推進協議会を発足させました。今後集落座談会等を開催しますので、ご協力をお願いします。

○ この事業を推進するため委嘱された推進員は次のとおりです。

鈴木好美（塚本）関根良夫（塩倉）矢吹健治（滝）白坂清美（西野）須藤金一（熊野）斉藤正光（切払）佐藤庄市（西部）松本定吉（大平・追木）関根功男（大沢・余所内）阿久津春男（折戸）関根長一郎（宝木）松崎健一（岩野草）関根仁（西山中央）生田目利夫（西山四区）関根乙夫（西山第一）水野成男（大塩）円井勝夫（真坂・真坂東）大河内平（新宿）金沢利雄（薄ケ久保・官沢）鈴木輝男（馬場）前田勝男（前田）中川西安正（石井草）宗田豊（官代）蛭田義男（広畑）宗田稔（内ケ竜上、下）中川西寅夫（大房）森一一（遠ケ竜）芳賀清（大石草）矢吹勝義（東野）石井輝二（木戸沢、大竹）芳賀逸義（戸草）根本亀代次（葉貫）我妻一男（前沼）船木彦助（二反田）松本源一（鍬木田）石井栄（中沢）蛭田藤留（田尻）蛭田正（福原）国井鬼子治（木之根、中山、中野町）菊地四郎（下、大戸中）芳賀洋郎（江竜田一、二）藤田好幸（関口一、二）星武（越虫）山形武雄（丸谷地）白石重男（大犬平）長久保勲（青生野）大竹光寿（江堀）新妻貞夫（世々麦）

中野長生会の奉仕作業に感謝

老人クラブ中野長生会会員三〇名の皆さんは、去る六月三〇日朝九時から正午まで、強滝遊歩道の雑草刈払いを奉仕作業されました。

若者をしのぐ元気な作業ぶりで延長一二〇〇メートルの道路が見事に清掃されました。

美しい心の奉仕作業に厚くお礼申し上げます。



作業を終えてたのしいひととき



役場の職員でつくっている職員クラブでは、7月7日に村の名勝強滝地内の河川清掃を行いました。毎年の恒例行事になっていますが、今年はいつもよりゴミが多かったようです。

皆さんゴミは川に棄てないようにしましょうね。

みんなでやろう エネルギー節約

私たちの家計にとってもプラスになり、同時に石油危機の回避にもなる資源・エネルギーの節約は今では全国民の課題になりました。次のことを守って資源・エネルギー節約に努めましょう。

◎ テレビはつけっぱなしにしないでこまめに切りましょう。

テレビを見る時間を一日一時間短縮する。

◎ 使わない部屋の不要なあかりは、こまめに消しましょう。

◎ 洗濯物をなるべくまとめて洗いましょう。

◎ 電気掃除機のフィルター、集じん袋をときどき洗いましょう

◎ 冷蔵庫の扉の開閉をできるだけ少なく短かくしましょう。

◎ 風呂の水は最初から適量に入れ、適温にわかしましょう。

なるべく家族がそろって入れる時間にわかし、続けて入る。

◎ 自動車の速度はひかえめに、できるだけ経済的な速度で走りましょう。

ゴミ収集のお知らせ

八月と九月のゴミ収集日は次のとおりです。各家庭のゴミは袋等に入れ、散乱しないよう収集日の朝持ち出しましょう。

なお、燃えないゴミは各コースともに一週間おきに収集するのでご注意下さい。

収集コース	種別	8月	9月
江竜田～中野町～彦次郎～広畑～新宿（新宿橋まで）	可燃物	毎週月・木曜日	毎週月・木曜日
	不燃物	（隔週月曜日）27日	（隔週月曜日）10日
新宿（新宿橋から）～道少田～大塩コース	可燃物	毎週火・木曜日	毎週火・木曜日
	不燃物	（隔週月曜日）27日	（隔週月曜日）10日
真坂～茅～酒垂～宝木～水口～官沢コース	不燃物	（隔週水曜日）22日	（隔週水曜日）5日、19日
越虫～青生野～戸草～蔵の草～官代～遠ケ竜コース	不燃物	（隔週火曜日）21日	（隔週火曜日）4日、18日

村県民税第2期　国民健康保険税第3期　納期限　8月25日

かがやく太陽・ゆかいな行事



上から鮫川保育所のどじょうつかみ大会。次はスポーツ少年団の少年少女球技大会。下はOBソフトボール大会の盛況。

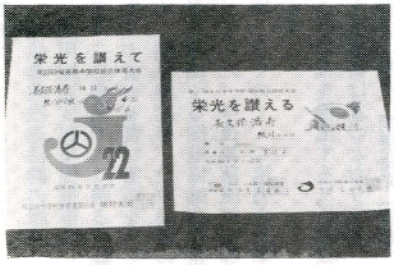
鮫中の長久保浩寿君

県中体連三〇〇〇Mで四位入賞

全国大会に出場

去る七月一一～一二日、第二二回福島県中学校総合体育大会が郡山市開成山陸上競技場で開かれ、鮫川中学校からは長久保浩寿君（三年）、笹島次雄君（三年）、赤坂誠君（二年）の三人が参加しました。

その中で三、〇〇〇メートル競走に出場した長久保浩寿君は、九分一五秒六の好タイムで四位に入賞しました。これは郡大会記録を一四秒四短縮したもので、八月二六～二七日に国立競技場で行われる全国大会に出場することになりました。



救急車の正しい使い方

救急車の出動要請が重なると緊急出動ができなくなる場合があります。

軽い病気などは、救急車の出動要請をできるだけ控えて下さい。

消防署で病院の手配をしますから、自家用車を使って下さい。

救急車の出動は、次の事故などに限り要請するようにお願いします。

一、災害により生じた事故
（火災、水害、地震等による事故）

二、屋外で生じた事故
（交通事故、工事現場等の労働災害）

三、公衆の出入りする場所で生じた事故
（街頭、公民館、学校や運動競技中の事故）

四、屋内で生じた事故（急病）のうち救急車によって搬送を必要とする場合
（異常分娩、食中毒、気道閉鎖等で生命の危険がある緊急事故）

ゆっくりと、あわてず、119を、ダイヤルし

○先ず＝救急です。

○住所（目標物）と、病気か、怪我（交通事故等）か＝はっきりと

○状況＝何才位の男か、女か

○程度＝出血、骨折している等

火事と救急車は　119

棚倉消防署鮫川分署

花いっぱい運動の展開

鮫川村商工会婦人部の活動

「見る人の心をたのしませ、美しい環境をつくりましょう」と鮫川村商工会婦人部（代表植村千枝子）七〇名の皆さんが村内の目ぬき通りを中心に花いっぱい運動を実施しました。

植えたのはサルビヤの苗一、七〇〇本で、今を盛りと赤い花が咲き揃っています。

村民の一人一人が大切に育てていきたいものです



サルビヤの苗を植付する商工会婦人部の皆さん

楽しい
作ってみよう　ペーパークラフト
作品募集中
応募期間　54年10月下旬
募集部門
「ベテラングループ」……かさ／人形／動物／植物／乗物／建造物／その他
「お楽しみグループ」……かさ／人形／その他
応募区分　大人（心身障害者向け）　大人　大人（初心者向け）
発表月　11月　11月　12月
発表全国公募会　54年　54年　55年
5　5　5
●詳しくは、たばこ販売店頭のポスターをご覧下さい。